

口絵1 下仁田町で大切にしたい植物 (本文1-10, 里見哲夫)

下仁田町で注目すべき植物



⇐

1885年信越線が開通し妙義での植物研究がさかんになった。ミョウギシダは1887年、妙義山で発見されている。

⇒

冷涼地に生育するザゼンソウがみられ、生育のほぼ南限に近いと思われる。



①ミョウギシダ

②ザゼンソウ



④フモトミズナラ

ミズナラに似て見えるが標高 200~300 m に育つ。北関東の一部と東海東部、愛知の一部に分布する。

③カワノリ

河川上流の急流に育つ。かつては食用とされたが、激減している。

下仁田で姿を消した植物



⑤クマガイソウ (1995年5月9日撮影)



⑥アツモリソウ (1990年前後に撮影)

口絵 2



①普寛行者 金剛萱 (本文11-20, 堀越教之)



②俱利伽羅龍王 小沢岳 (本文11-20, 堀越教之)



西牧地区で栽培される「西野牧系」

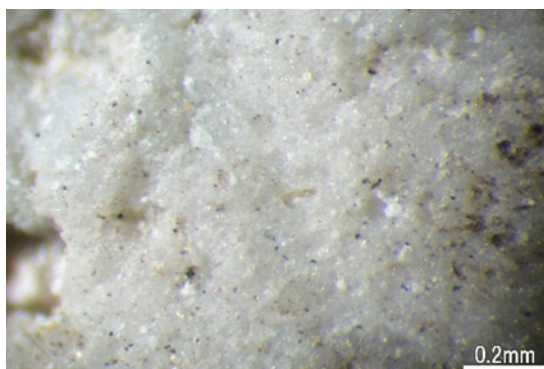
③下仁田ネギの栽培地域と系統のちがい (本文21-31, 渡辺 悟)



馬山地区で栽培される「中ダルマ系」



④原家砥石 (左: 原資料1, 右: 原資料2)



原資料2の実体顕微鏡写真×100 (本文37-42, 中村由克)